

令和3年度 飯塚市事務事業評価シート

令和 4 年 6 月 2 日 作成

事務事業名	環境衛生推進事業	外部評価の状況	事務事業No.	723 - 7
		なし		

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
市民環境部	環境対策課	総務係	主任	松岡 勝治	課長	小村 慎次
施策体系	総合計画	政策	7	自然環境		
		施策	2	快適な生活環境づくり		
		基本事業	3	環境美化活動の推進		
	その他の計画	個別計画	-			
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市廃棄物の減量及び処理の適正化に関する条例（§23～§26）					
事業開始年度	把握していない	事業終了年度	継続	事務事業類型	義務的事業（市に裁量の余地がないもの）	
実施手法	一部委託	補助金等の支給	なし	実施計画期間	-	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	市民の清潔な生活環境保持のため、 ・環境パトロールの実施や不法投棄物の回収および監視カメラ・看板等の設置作業 ・依頼を受けた各課所管の市有地の草刈りや回収、側溝・樹木等の消毒作業を行う。					
対象	働きかける相手・もの	市民および市有地				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	・不法投棄物・散乱ごみの回収やパトロール監視 ・投棄多発箇所への監視カメラ・看板設置 ・害虫発生箇所への消毒作業や不法投棄抑止のための草刈りや回収作業				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	不法投棄物・散乱ごみをなくすことや、消毒作業を行うことで環境美化へと繋げる。				

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
パトロール日数	日	穎田、庄内、穂波、筑穂地区 飯塚地区	341 240	340 240	340 240
監視カメラ（延べ件数） 看板設置数（新規設置数）	件	不法投棄多発箇所への監視カメラや 看板の設置件数	11 34	11 23	11 30
草刈り（6箇所×3回） 消毒等作業（6箇所×2回）	件	各課からの相談及び作業を行った件数	30	30	30

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
不法投棄発生量	k g	前年比減	39183	27227	25564
	方向性	達成目標年度	27227	25564	
不法投棄総重量	減少	毎年度	143.91%	106.51%	
	達成率				
不法投棄物発生数	件	10	10	9	8
	方向性	達成目標年度	8	13	
不法投棄物における相談件数	減少	毎年度	125.00%	69.23%	
	達成率				
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度			
	達成率		#DIV/0!	#DIV/0!	

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

予算科目・事業	会計	1 一般会計	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費	他 0 事業	
	大	99 その他の環境衛生費	中	1 環境衛生推進事業費						
投入人員 （当該事務事業に対して 1年間に投入した人員）	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由（10%以上の場合）		次年度予算(千円)				
	正職員	3.65 人 28,762	3.22 人 26,392			3.22 人 26,392				
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0			0.00 人 0				
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0			0.00 人 0				
	再任用フル	0.40 人 1,466	1.20 人 4,580			1.20 人 4,580				
	再任用短	0.08 人 235	0.07 人 205			0.07 人 205				
	会計年度	1級フル	1.01 人 2,734	1.01 人 2,937			1.01 人 2,937			
		1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0			0.00 人 0			
		2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0			0.00 人 0			
	人件費計（A）		33,197	34,114			34,114			
事業費	直接事業費（B）	13,551	13,529			13,741				
	総事業費（A+B）	46,748	47,643			47,855				
直接事業費のうち の主な歳出内訳	パトロール等委託	12,635	12,635			12,671				
	看板作製	259	275			297				
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）	0	0			0				
	国・県支出金	0	0			0				
	市債	0	0			0				
	一般財源	46,748	47,643			47,855				
	その他（ ）									

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	颯田・庄内・穂波・筑穂の4地区については一部の業務(散乱ごみ等処理及び監視に関する業務)を委託しているが、現状では直営部局の職員がいるため、民間委託への早期移行は難しい。
	目的の妥当性	妥当	颯田・庄内・穂波・筑穂の4地区については一部の業務(散乱ごみ等処理及び監視に関する業務)を委託しているため、飯塚地区においても可能と考える。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	市内全域を対象としており、受益者は偏っていない。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地なし	団体や市民におけるボランティア活動で省力化できることもあるがコスト削減を見込むことはできない。
	負担割合の適正化	適正	事業の性質上、受益者負担は不可能である。
	手段の最適性	最適	類似事業や他に替わる事業はないと考える。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	達成	市民の生活や生活環境の保持に、一定の成果があったと考察する。
	上位施策への貢献度	貢献できた	不法投棄のR2年度は相談件数8件、総収集重量27,227kg、R3年度の相談件数13件総収集重量25,564kgと減少傾向であるため、貢献できている。
	事業継続の有効性	ある	不法投棄がなくなるまで、環境保全のために継続が必要である。

### 7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	市職員、環境パトロール委託業者におけるパトロール強化月間における不法投棄監視の充実に努める。土地所有者(所管課)に対する環境美化啓発の推進を図る。適正な廃棄物処理に従わない悪質な事例に関しては、警察との連携強化を図る。
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	技能労務職員数の減少が見込まれ、他課依頼の作業遂行が困難となることを見込まれるため、その作業のあり方について関係部署と協議する必要がある。

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

パトロール日数を増やし、いままで未確認であった幹線道路沿い以外の箇所などを把握することが出来た。不法投棄物の相談件数は8件から13件へは増加となったが、パトロール及び啓発・指導・監視には今後も継続して力を入れていきたい。不法投棄の回収総重量もR2年度27,227kgからR3年度25,564kgと減少することができた。

### 8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

- 【成】 昨年度より委託業務である環境パトロールの日数を増やしているため、不法投棄個所の確認・把握を継続して行えている。公衆衛生果を保ち良好な生活環境が得られるよう、パトロール及び啓発・指導・監視も継続して力を入れていきたい。
- 【課】 市有地・私有地における不法投棄は後を絶たない状況であり、不法投棄をされないような管理の推進についても今後は検討していきたい。

### 9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	拡充	④	②	①	評価区分	事務事業の方向性
	現状維持				③	⑤
縮小	⑥				二次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持
休・廃止	⑦					
	休・廃止	縮小	現状維持	拡充		
	コスト投入の方向性					

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策	環境パトロールにおける強化月間を拡充するなど、不法投棄監視の充実を図る。土地所有者(所管課)に対する環境美化啓発の推進を図る。適正な廃棄物処理に従わない悪質な事例に関しては、警察との連携強化を図る。
コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策	不法投棄箇所へ啓発看板以外にも監視カメラの設置増加を行い不法投棄監視の充実を図る。

評価変更理由	一次評価のとおりとする。
--------	--------------